

序 「紀要」第9号の発行にあたって

秩父市教育委員会教育長 前 堅 進 一



秩父市教育委員会では、未来の秩父を担う人材の育成と特色ある元気な学校づくりを推進し、「笑顔とあいさつ 思いやりと感動 志高き 秩父大好き人間の育成」をめざし、秩父市学校創造スーパープランに基づいて様々な施策を展開しております。

今年度、秩父市教育研究所は、主任指導主事を兼務する所長のほか、指導主事2人、行政職員1人の合計4人で構成され、学校教育支援や教育活動支援並びに各種研修会や調査研究活動及び小・中学生等を対象とした講座などを行ってまいりました。また、教育研究所内に設置された教育相談室（ひまわり教室・やまなみ教室〔現在休室中〕）では、4人の教育相談員と1名の臨床心理士を配置し、各中学校に配置しているさわやか相談員等と連携しながら、いじめや不登校等の未然防止や早期解決に向け、教育相談事業の充実に努めております。また、埼玉県スクールソーシャルワーカー1名（教育相談員と兼務）を配置し、児童生徒の環境改善に向けて、関連機関との連携を図っております。

秩父市ならではの教育改革と特色ある元気な学校づくりをめざして、「若い教師のための学級経営講座～秩父師範塾～」、「小学校外国語活動研修会」、「生徒指導・教育相談中級研修会」、「さわやか相談員研修会」などを主催し、教職員の資質向上に努めてまいりました。また今年度は、「小学校の先生が基礎を学ぶ理科講座」を新たに開講し、教師の授業力を高める研修を実施しました。

子どもたちを対象とした事業としては、地元の県立高等学校と連携を図った「学力向上チャレンジ・スクール」、「小学生と高校生のふれあい体験」を継続して行いました。また、教職を目指す大学生が中学生の自主学習を支援する「フォローアップ・スクール」を実施しました。小学生対象の「理科おもしろ実験教室」では、昨年度の物理コース、化学コースに加え、今年度は生物コース、地学コースを新たに開設しました。さらに、中学生を対象に「英語パワーアップ講座」を開講し、英語検定合格を目指し、英語力の向上を図りました。

この他には、「子どもちちぶ学士・博士」、「子どもちちぶジオ学士・ジオ博士」、「子ども伝統芸能伝道師」、「子ども芸術文化伝道師」、「子どもスポーツマスター」の称号授与を行い、郷土秩父を愛し、自信と誇りをもてる子どもの育成に努力しております。

以上のような1年間の活動の経過や成果等を、この「紀要」第9号に掲載いたしました。振り返りますと、改善、充実していかなければならないこともあります。今後とも、教育研究所の充実・発展のために所員一同全力を尽くしてまいりますので、多くの皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

これまでの様々な諸事業に対しましてご支援ご協力を賜りました関係の皆様にご厚く御礼申し上げます、あいさつといたします。

目 次

序

目 次	2
I 教育研究所の概要	3
1 基本方針	
2 組織構成	
3 事業内容	
II 訪問指導	5
1 北部教育事務所との連携による学校訪問	
2 要請訪問	
3 研究指定校・委嘱校等支援	
① 地域に応じた学力向上推進事業.....7	② インターナショナルセーフスクール.....21
③ 体力課題解決研究指定校	23
III 研修会・講座・委員会	24
1 教師力向上研究研修会事業	
① 教師力向上研修会『秩父師範塾』	24
2 授業づくり研修講座	
① 小学校の先生が基礎を学ぶ理科講座	26
② 外国語活動研修会	27
3 個を大切にする研修講座	
① 生徒指導・教育相談中級研修会	28
② さわやか相談員研修会	29
4 チャレンジスクール事業	
① 学力向上チャレンジスクール	31
② 小学生と高校生のふれあい体験.....	34
③ フォローアップ・スクール	38
④ 理科おもしろ実験教室	40
⑤ 中学生英語パワーアップ講座	44
5 初任者研修・経験者研修	
① 初任者研修施設体験研修	47
② 5年経験者研修社会貢献活動体験研修.....	50
6 推進委員会	
① 学力向上推進委員会	51
② 体力向上推進委員会	53
IV 外国語指導助手（ALT）配置事業	56
V 教育相談事業	57
VI 秩父大好き人間育成事業	61
① 子どもちちぶ学士・子どもちちぶ博士	61
② 秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師	66
③ 秩父市子どもスポーツマスター	68
あとがき	70

I 教育研究所の概要

1 基本方針

秩父市教育研究所は、教育に関する基本的調査並びに教育の理論と実践に関する研究と教育関係職員の研修を行うことを目的として、平成17年4月1日に設置された。

教育研究所では、秩父市の教育の現状と課題を踏まえ、21世紀に生きる子どもたち一人一人の可能性を最大限に伸ばし、「秩父大好き人間」をはぐくむための教育研究を「秩父市学校創造スーパープラン」に基づき推進している。秩父市教育研究所条例では、次のような業務が規定されている。

- (1) 教育に関する専門的又は技術的事項の調査研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 教育相談に関すること。指導業務に関すること。
- (4) 教育に関する資料の収集及び提供に関すること。
- (5) その他教育の充実と振興を図るために必要な事項。

2 組織構成

秩父市教育研究所条例及び同条例施行規則に基づき、所要の職員が配置されている。本年度は、主任指導主事を兼務する所長のほか、指導主事2人、行政職員1人の合計4人で構成されている。また、学校教育課の指導主事を含めて7人の指導主事が連携を図りながら、学校等への指導業務に当たっている。

このほか、教育研究所内に、秩父市教育相談室が設置され、4人の教育相談員が児童生徒や保護者への教育相談及び適応指導教室（ひまわり教室）に通級する児童生徒の指導にあっている。

3 事業内容

(1) 学校訪問等による指導

ア 北部教育事務所との連携による学校訪問（p.5参照）

埼玉県教育局北部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当と連携し、教育課程（学習指導・教育計画等）、学校経営等に関する指導・支援を実施する。

イ 学校からの要請による訪問指導（p.6参照）

小・中学校、幼稚園からの要請に基づき、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間及び幼稚園の各領域に関する授業研究並びに校内研修テーマに基づく研究・実践への指導・支援（1校につき2回程度）を実施する。

ウ 研究指定校・委嘱校等支援（p.7参照）

研究指定校・委嘱校等としての研究に対して、学校等の要請に応じて指導・支援を実施する。

エ 教育相談員（スクールソーシャルワーカー）による訪問指導

不登校（傾向）児童生徒に関する情報交換を中心に、学校経営全般について協議し、学校教育の充実を図るため、各学校への指導・支援を実施する（各学期1回）。

(2) 研修会・講座・委員会

事業名・講座・委員会名	研修会名等	回数	参加者延人数
教師力向上研究研修会事業	若い教師のための学級経営講座『秩父師範塾』	5	110
授業づくり研修講座	小学校の先生が基礎を学ぶ理科講座	1	20
	外国語活動研修会	1	14
個を大切にしている研修講座	生徒指導・教育相談中級研修会	4	36
	さわやか相談員研修会	8	80
チャレンジスクール事業	学力向上チャレンジスクール	3	291
	小学生と高校生のふれあい体験	8	168
	フォローアップ・スクール	2	83
	理科おもしろ実験教室	1	134
	英語パワーアップ講座	3	132
初任者研修・経験者研修	初任者研修施設体験研修	3	48
	5年経験者研修社会貢献活動体験研修	2	24
推進委員会	学力向上推進委員会	3	69
	体力向上推進委員会	2	46
合 計		46	1,255

(3) 外国語指導助手 (ALT) 配置事業 (p. 56参照)

(4) 教育相談事業 (p. 57参照)

(5) 教育に関する調査・研究

- ア 各種教育課題に関する調査・研究
- イ 指導資料等の編集
- ウ 各種調査の実施
- エ 教育関係資料の整備

(6) 教育の充実と振興

ア 秩父大好き人間育成支援 (小・中学生対象)

(ア)「子どもちちぶ学士 (ジオ学士)・子どもちちぶ博士 (ジオ博士) の称号」を授与する。

(イ)「秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師の称号」を授与する。

(ウ)「秩父市子どもスポーツマスターの称号」を授与する。

イ 紀要及び教育実践・研究集録等の編集・発行

(ア) 学校や教職員の研究・実践の概要を「秩父教育」として編集・発行する。

(イ) 秩父市教育研究所の事業内容を「紀要」として編集・発行する。

Ⅱ 訪問指導の概要

1 北部教育事務所との連携による学校訪問

月	日	曜	学 校 名	公 開 授 業 数	研 究 協 議 分 科 会 数	校 内 研 修 テ ー マ
5	16	木	秩父第一小	10	5	できる喜び・わかる喜びを味わう児童の育成
6	7	金	大 滝 中	7	4	自ら考え、自分の夢を語る生徒の育成
	17	月	秩父第一中	30	12	思考力・表現力を身につけ、学習に意欲的に取り組む生徒の育成
	26	水	尾 田 蒔 小	15	6	伝え合う力を身につけさせる指導の工夫
7	1	月	影 森 中	15	6	一人ひとりのよさを伸ばす学級づくりをめざして
	2	火	影 森 小	18	7	気づき、考え、伝える子の育成
	3	水	久 那 幼	3	1	自立に向けて3つのめばえの効果的な実践方法の工夫
	4	木	西 小	18	8	言語活動を充実させ、児童の思考力・表現力を伸ばす指導方法の工夫
	8	月	荒 川 中	13	5	学力向上と豊かな心の育成
9	2	月	大 滝 小	3	3	ふるさとの学びを生かし、新しい時代を築く心豊かな子どもの育成
	3	火	南 小	13	6	豊かな心を育み、確かな力をつける
	5	木	高 篠 小	17	6	自ら進んで運動に取り組む、健やかな体と心を持つ児童の育成
	18	水	吉 田 幼	6	1	幼児が進んで食べようとする気持ちをもたせるには
10	2	水	花 の 木 小	18	7	子どもたちがせいっぱい運動に取り組む体育の授業づくり
	22	火	久 那 小	7	4	確かな学力（基礎・基本）を身につけ、生き生きと活動に取り組む児童の育成をめざして
	24	木	尾 田 蒔 中	11	5	豊かな人間関係を築き、共によりよく生きる生徒の育成
	30	水	荒 川 西 小	7	4	学力の向上と豊かな心の育成
11	6	水	高 篠 中	12	5	確かな学力の育成～意欲を高めるための学習指導の工夫～
	7	木	吉 田 中	14	5	基礎学力・学習意欲の向上を目指し、互いに高め合う生徒の育成
	8	金	原 谷 小	25	9	自分の考えをもち、伝え高め合う学習活動
	25	月	荒 川 東 小	12	5	学力向上と豊かな心の育成
12	2	月	荒 川 幼	2	1	気になる園児をとともに支えるために
	5	木	吉 田 小	16	6	言語活動の充実を図り、意欲的に国語科に取り組む児童の育成
	9	月	秩父第二中	20	8	確かな学力と豊かな心の育成を目指した指導の工夫
1	22	水	大 田 小	8	4	学力向上を目指した学習指導の工夫
	29	水	大 田 中	8	4	個に応じたわかりやすい授業の創造

2 要請訪問の概要

月	日	曜	学校名	学年等	教科等	単元・題材名等
6	5	水	大滝中	職員	キャリア教育	キャリア教育と研究主題とのかかわり
			尾田蒔中	1	道徳	父の一言
	10	月	吉田中	1	社会	世界の地域構成
			影森小	4	算数	わり算のしかたを考えよう
	11	火	高篠中	1	総合	ライフスキル「友人関係の改善」
	13	木	高篠小	6	体育	バスケットボール（ゴール型）
	24	月	原谷小	2	算数	3けたの数
25	火	花の木小	6	体育	短距離走・リレー（陸上競技）	
7	3	水	吉田幼	全園児	保育全般	遊具遊び 提灯制作 外遊び
	4	木	大滝小	2	国語	むかしのお話を読む「いなばのしろうさぎ」
	5	金	荒川幼	全園児	保育全般	七夕まつり会でポテトサラダパーティー
	9	火	大田中	2	特別支援	Hello! 英語で話そう（挨拶・時間）
大滝中			1	数学	文字と式	
9	30	月	秩父第二中	3	国語	近代の俳句「情景を思いと言葉で切り取ろう」
10	1	火	荒川東小	4	道徳	ぼくもクラスの一員 オトちゃんルール
	3	木	秩父第一小	3	社会	人々の仕事とわたしたちのくらし
			西小	3	社会	スーパーマーケットではたらく人
	4	金	高篠小	4	体育	小型ハードル走（走・跳の運動）
	7	月	影森小	2	算数	形をしらべよう
	9	水	荒川中	3	英語	マイドリーム
	17	木	南小	5	国語	討論会をしよう
	18	金	高篠中	1	国語	形（菊池寛）
	21	月	大滝小	6	国語	多様な見方をもとに考えを深める「ぼくの世界 きみの世界」
	23	水	吉田小	5	国語	大造じいさんとがん
	28	月	大田小	1	国語	ばめんのようすをおもいうかべてよむ「りすのわすれもの」
			原谷小	6	算数	比例と反比例
	29	火	久那幼	全園児	保育全般	ハロウィンパーティーに向けて
尾田蒔小			1	国語	じゅんじょをかながえてよむ「はたらく じどう車」	
31	木	秩父第一中	2	理科	電気の世界	
11	7	木	西小	6	理科	てこのはたらき
	11	月	久那小	1	国語	じゅんじょをかながえてよむ「はたらく じどう車」
	18	月	尾田蒔小	6	国語	多様な見方をもとに考えを深める「ぼくの世界 きみの世界」
			大田中	1	国語	物語の始まり（発展）～実は身近な古典作品～
	20	水	南小	1	国語	じゅんじょをかながえてよむ「はたらく じどう車」
			吉田中	1	理科	身のまわりの物質
	21	木	吉田小	2	国語	わにのおじいさんのたからもの
			高篠小	1	体育	ボール投げゲーム
	26	火	影森中	1	特別活動	ライフスキル「上手な話の聴き方」
			荒川西小	6	体育	病気の予防「喫煙の害と健康」
29	金	秩父第一小	5	算数	面積の求め方を考えよう	
		花の木小	2	体育	多様な動きをつくる運動遊び	
12	11	水	荒川中	1	社会	中世の日本
1	20	月	秩父第二中	1	数学	平面図形
	24	金	西小	2	国語	じゅんじょに気をつけて読む「きつつき」
	27	月	荒川東小	職員	学力向上	秋田県学校視察
2	4	火	原谷小	4	算数	小数のかけ算とわり算
	6	木	尾田蒔小	3	国語	どちらが生たまごでしょう
	10	月	影森中	2	学級活動	1年後の自分を考える

3 研究指定校・委嘱校等支援

① 地域に応じた学力向上推進事業【西小学校への支援】

1 概要

秩父市教育委員会が埼玉県教育委員会から研究委嘱を受け、秩父市立西小学校がモデル校の指定を受け、平成25年度から平成27年度までの3ヵ年で行う事業である。学力向上の課題に取り組み、地域の実情に応じた学力向上の手法を見出し、児童生徒の学習意欲や理解力等の向上を図る。

2 主な取組・内容等

(1) 学力向上推進委員会の開催

秩父市学力向上推進委員会に県教委の指導主事を招聘し、年間3回開催した。(p.51参照)

(2) 授業研究会の開催

西小学校における授業研究会(要請訪問)に、県教委の指導主事と年間3回訪問した。(p.6参照)

(3) 秋田県研究校訪問

秋田県研究校の訪問を西小学校教諭2名と教育研究所指導主事2名で行い、その成果を校長会議等で周知した。

3 秋田県の学校の訪問概要

(1) 日程

平成25年11月24日(日)～26日(火)

(2) 視察校

秋田県大仙市立中仙小学校(25日午前)

秋田県大仙市立清水小学校(25日午後)

秋田県秋田市立寺内小学校(26日午前)

(3) 視察参加者

秩父市立西小学校 教諭 出浦美由紀

秩父市立西小学校 教諭 宮原 大輔

秩父市教育研究所 主幹 中山 浩一

秩父市教育研究所 主幹 新井 章弘

(4) 報告

ア 授業のようす

(ア) 教師からの教え込みではなく、児童同士が学び合う

- ・ 学びあいの精神に溢れている。
- ・ 思考を促す発問を全教師が行っている。
- ・ 児童の言葉を大事にした授業が展開されている。

(イ) 学習のめあての明確化

- ・ 本時のねらい(めあて)が明確にあり、板書されている。
- ・ ねらいに迫る発問がなされている。
- ・ 児童の指名を意図的に行っている。

(ウ) 授業の流れの確立

- ・授業の流し方が徹底されている。

(エ) 教師と児童の良質な関わり

- ・教師が笑顔で接している。
- ・大いに褒めるなど、温かい教師と児童のかかわりがある。
- ・叱るときには、きちんと叱る。

(オ) 児童の発表に関すること

- ・発表時に黒板前に児童を集合させる。
- ・自分の言葉で、根拠を伴って発表している。
- ・考えたい、言いたい気持ちに溢れた行動、言動が児童からみられる。
- ・児童の発表は、大きな声で行う。

(カ) 児童の学習規律の徹底

- ・児童の姿勢、返事がしっかりしている。
- ・音読がそろっている。
- ・全児童が授業に集中している。
- ・辞書をしっかり使わせている。

(キ) 児童の学習環境の徹底

- ・(筆箱を出さないなど) 机上の整理がされている。
- ・1時間の授業は見開き2ページとするなど、ノート指導が徹底されている。
- ・教卓が教室内にない。

(ク) 個に応じた指導

- ・個に応じた指導が展開されている。

イ 授業改善に関する研修のようす

(ア) 全教職員の向上心

- ・全教職員の研究授業が行われている。
- ・全教職員の向上心がある。(高い授業イメージが共有されている。)

(イ) 校内研修の方向性の明確化

- ・校内研修への高い意欲を全教職員がもっている。
- ・校内研修の方向性が明確である。

(ウ) 校内研修の回数が多い

- ・月2～3回程度と校内研修の開催頻度が高い。(秩父市では月1～2回)
- ・授業を参観する機会が、年間7～8回ある。

(エ) 事前に指導案配布し、事後は改訂指導案を作成する

- ・授業を参観する教職員へ、事前に指導案を配布する。
- ・改訂指導案を全教職員が作成する。

(オ) 協議会の議題の中心は、課題・改善点

- ・協議では、課題・改善点を中心に行う。
- ・ワークショップ型の協議スタイルがスタンダードである。

(カ) 研究主任のリーダーシップ

- ・研究主任のリーダーシップが発揮されている。(3校とも、40代の学級担任)

ウ 学校や家庭に根付いている文化について

(ア) 家庭で勉強する文化

- ・児童に1人勉強をやる文化がある。(基礎は家庭で、学校は学び合うところという意識を保護者がもっている。)
- ・学習塾がない。

(イ) 地区の教育研究会が果たす大きな役割

- ・地区の教育研究会の役割が大きい。(教職員研修、授業研究・協議会の進め方が統一されている。)
- ・教職員研修のための臨時休業日が設けられる。(先生方の研修のために、学校を臨時休業日にすることが数十年続いており、地域に根付いている。その臨時休業日に研究授業のために、該当クラスの児童生徒のみを出席させることも抵抗がない。)
- ・地区の教育研究会への市の財政支援が大きい。(年間250万円程度)

(ウ) 管理職と教職員の良好な関係

- ・管理職と教職員の関係が極めて良好である。(管理職が教職員を、よく褒めよく指導する。)

(エ) 学級経営に対する高い意識

- ・教員の学級経営への意識が高い。(学級経営が学力向上の基盤である。)

(オ) 保護者と学校の良好な関係

- ・保護者会の出席率が極めて高い。(ほぼ毎回100%)
- ・保護者に寄り添うことで、良好な関係を築いている。
- ・オープンな学校にしている意識が高い。

(カ) ネットトラブルは、ほぼ皆無

- ・携帯などのネットトラブルは、ほぼない。

(キ) オンとオフの切り替え、無駄を省く意識

- ・退勤時間が早い。(18時には校内鍵締め、大仙市)
- ・無駄を極力省く。(指導案のページ数は1ページor2ページ。職員会議の持ち方。協議会を短くするための焦点化等)

(5) 今後の方向性 (提案)

<大テーマ>

◎ 授業改善を最重要課題、重点事項に据える

<小テーマ>

○もっと授業を見せ合う

(手立て) 要請訪問のあり方を再検討する。

○全教員が研究授業を行う

(手立て) 各学校の実態に応じて、可能な範囲で行う。

○授業者は、改訂指導案を作成する

(手立て) 校長会議等で周知し、可能な範囲で行う。

○課題改善に時間を割く研究協議会を行う

(手立て) ワークショップ型研修を推進する。

○校内研修を活性化させる

(手立て) 研究主任の人事で活性化を図る。

○秋田視察の継続し、秋田県教諭を招聘する

(手立て) 予算を確保し、日程を調整する。

4 各種資料

- (1) 秋田県学校視察報告プレゼンテーション (資料1 p.10~p.18)
- (2) 秋田県の学力の相関図 (資料2 p.19)
- (3) 校内の授業研究会に関する取組段階表 (資料3 p.20)